

◎ 学校教育に求められている姿（「生きる力」の育成）

- ～確かな学力、豊かな人間性、健康・体力～
- 社会人として自立→キャリア教育が指すもの
- ・ 学校の学習と社会とを関連付けた教育
- ・ 生涯にわたって学び続ける意欲の向上
- ・ 社会人としての基礎的資質・能力の育成
- ・ 自然体験、社会体験等の充実
- ・ 発達に応じた指導の継続性

令和2年度

棚倉町学校教育経営改革プラン

夢をつなぎ
よりよく生きようとする子どもの育成

◎ 新時代に対応する教育へ改革

- 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」
- 幼少期の終わりまでに育ててほしい10の姿
- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 社会に開かれた教育課程の実現
- カリキュラムマネジメントによる学校改善
- 学校の当たり前を見直す（目的と手段）

Society5.0を生き抜く力を育てるキャリア教育
～新しい時代に必要となる資質能力（基礎的・汎用的能力）の育成～

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

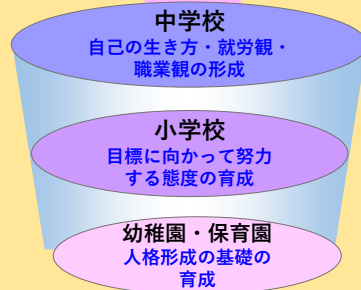
課題対応能力

キャリアプランニング能力



地域全体で未来を担う子供たちの「学び」を支援する活動の推進

生きる力

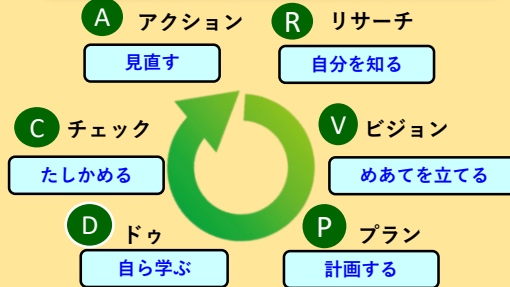


社会での自らの役割や生き方を考え、目標を立てて計画的に取り組む態度を育む時期

友達や地域社会との関わりを通し、社会性や主体性を育む時期

人との関わりや、認められた喜びから自信をもたせる時期

自己マネジメント力を生かした棚倉型サイクル学習の推進



課題を発見し、他者との関わりを通して主体的に課題を解決していく子ども

特別活動を要にしたキャリア教育の推進と
学びの基盤としての学級づくり

教育委員会による基礎的・汎用的能力の育成に関するアンケート実施

学校運営協議会等による評価

教育委員会評価委員会による評価

社会資源活用

- ◎ コミュニティ・スクールの推進
- ◎ 学校支援地域本部等との連携



- ◎ 地域高齢者、成人、青少年との連携
- ◎ 各地域の祭りなど地域行事との連携



- ◎ 地域工場、事業所、施設等との連携
- ◎ 子供育成会等との連携

社会教育資源活用

- ◎ 町長部局
- ◎ 企業・商工団体
- ◇ 「チャレキッズ」
(小学生社会職場体験)



- ◇ 職場体験学習（中2）



- ◎ 学芸員の支援による「棚倉町の歴史探究学習」
- ◎ 福祉関係団体
- ◎ 警察・消防署等
- ◎ スポーツ団体
- ◎ 文化団体
- ◎ 大学等
- ◎ 町活性化協会
- ◎ 社会教育団体
- ◎ 民間教育事業者

Society5.0を生き抜く力を育てるキャリア教育

新しい時代に必要となる資質・能力（基礎的・汎用的能力）

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能

課題対応能力

キャリアプランニング能力

地域全体で未来を担う子供たちの「学び」を支援する活動の推進

【実践1】

子どもの夢を支援する地域づくり

◎学校支援地域本部の設立と活動

- ・教育活動を支援する地域本部を設立（「近サポ」等）
- ・学校運営協議会と地域本部の関係強化
- ・地域コーディネーター、地域連携担当教員の連携

○キャリア教育シンポジウムの実施

- ・「地域総がかりの支援」体制の確立

○コミュニティスクールの推進

- ・学校運営に地域住民や保護者等が参画
- ・町教育委員会運営協議会設立

【実践2】

地域のよさを知り、地域から学ぶ

◎地域の歴史を知る、学ぶ

- ・小学3,4年:社会科副読本「私たちの町たなぐら」の活用
- ・6年:学芸員の支援による「町の歴史探求学習の実践
- ・「十万石棚倉城まつり」への参加
- ・町歴史検定への挑戦

○地域の産業を知る、体験する

- ・小学5,6年:「チャレキッズ」
- ・中学1年:いわき市「エリム」
- ・中学2年:町内「職場体験」
- ・小学校低学年体験学習「町探検」等の実施

【実践3】

「ひと・もの・しごと」との出会いから学ぶ

◎地域との触れ合い活動から学ぶ

- ・小学生による街づくりボランティア活動で学ぶ
- ・中学生による街並みづくり等への支援から学ぶ
- ・昔遊び等、老人との触れ合いから学ぶ

○キャリア教育推進事業から学ぶ

- ・自然の家における「セカンドスクール」から学ぶ
- ・町内全6年生による「宿泊学習」から学ぶ
- ・人材バンクを活用した土曜教室から学ぶ

棚倉町学力向上推進事業 令和2年度重点プラン

棚倉町教育委員会

Society5.0を生き抜く力を育てるキャリア教育

新しい時代に必要となる資質・能力（基礎的・汎用的能力）

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

自己マネジメント力を生かした棚倉型サイクル学習の推進

【実践1】

キャリア教育の視点に立った「授業スタンダード」の効果的な活用

- ◎キャリア能力を意識した、「授業スタンダード」の実践
 - ・指導方法の工夫と育む能力の意識化
 - ・板書計画に基づく授業づくり
 - ・授業の振り返りの充実
- 可能性を引き出し、生きてはたらく力を高める特別支援教育の充実
 - ・個々の力に応じた指導方法の工夫と能力向上
 - ・個に応じた学びを充実させる環境と教材づくりの充実

【実践2】

子ども主体の授業への改善

- ◎探究学習によるアクティブラーニングの授業づくり
 - ・「ふるさと・たなぐら」を意識した総合的な学習の改善
 - ・棚倉の歴史のよさを追究する場の設定
- アクティブ・ラーニングのツールとしてのICTの活用
 - ・思考力、判断力、表現力を高める場面でのICTの活用
 - ・プログラミング学習の実践と論理的思考力の育成

【実践3】

学びの基盤づくり

- ◎学力向上の要となる学級づくり
 - ・育みたい資質・能力の明確化
 - ・「ほめポイント」を意識した学級づくりと共有化
- 授業周辺の学びの基盤づくり
 - ・定着確認シートを活用した学習計画作りと実践
 - ・自己マネジメント力向上のためのフォーサイト手帳等のツールの活用
- キャリア教育意識調査の実施（2回）と学力との相関の分析
 - ・キャリア能力の向上と学力の関係を分析